



産学連携協定を結んだ大友克之
学長(右)と中村源次郎会長、瑞
穂市穂積、朝日大

「プロポリス」の 製剤開発で連携

朝日大と秋田屋本店協定

朝日大(瑞穂市穂積)と
養蜂・食品製造の「秋田屋
本店」(岐阜市加納富士町)
は4日、地域産業の発展や
人材育成を目指す産学連携
協定を結んだ。同社は同大
歯学部と共同研究を進め、

ミツバチが巣作りで生成す
る「プロポリス」を使った
新製品開発に取り組む。

プロポリスは、ミツバチ
が巣を作る際、集めた樹脂
と自身の酵素成分を混ぜ合
わせた固形物で、巣を菌や
ウイルスから守る作用があ
る。抗菌効果が注目されて
おり、両者の共同研究によ
り、虫歯や歯周病の予防に
効果のある製品の開発が期

待される。

同大で行われた締結式
で、大友克之学長は「地域
の産業に貢献することを誓
う」、同社の中村源次郎会
長は「共同研究の成果を全
国に発信し、健康増進に寄
与したい」とあいさつした。
式典後、歯学部の教授のプ
レゼンテーションがあり、
プロポリスに関する研究実
績を報告した。(稲葉亮)